

報告事項 1.

平成28年度 事業報告

【公益目的事業】

1. 調査・研究事業の推進

1-1 調査・研究

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給，及び地球環境の保全を図るため，部会活動を中心に調査・研究を行った。

1-1-1 部会活動

(1) 精製部会

プロセス分科会では，平成28年7月8日(金)に国際石油開発帝石(株)秋田鉱場にて，八橋油田の見学会及び勉強会を実施した。

(2) 石油化学部会

次のテーマで専門の講師を招き，勉強会を実施した。

a)平成28年11月2日(水)に勉強会「自動車と石油のつながりと今後」を開催した。

b)平成29年2月23日(木)に勉強会「触媒科学への計算化学の活用」を開催した。

(3) 製品部会

1) ガソリン分科会で以下の活動を行った。

a) 第40回CFRオクタン価照合試験を行った。

b) 石油連盟で行っているJIS K 2280「石油製品—燃料油—オクタン価及びセタン価試験方法並びにセタン指数算出方法」の改正に協力した。

2) アスファルト分科会で，TLC/FID法によるアスファルト組成分析試験に用いる試薬変更の検討を行った。

3) 絶縁油分科会で以下の活動を行った。

a) 絶縁油関連の文献を調査し，最新情報の共有化を図った。

b) Stray gassing（これまでよりも比較的低温領域で可燃性ガスを多量に生成する現象）に関する文献調査と試験方法の検討を行った。

c) 電気絶縁油ハンドブック（講談社発行，石油学会編）の追補版作成の検討を行った。

4) 試験分析分科会で以下の活動を行った。

a) 石油製品中のナトリウム分，カリウム分の分析にICP発光法を適用する検討を行った。

b) エンジン油の軽油希釈率試験方法にキャピラリーカラムを適用する検討を行った。

c) エンジン油のガソリン希釈率試験方法にキャピラリーカラムを適用する検討を行った。

d) ガスクロマトグラフを用いたガソリンの全成分試験方法について検討を行った。

e) 平成28年10月14日(金)に(株)レボインターナショナルにて，バイオディーゼル燃料製造設備の見学会を実施した。

(4) 装置部会 装置委員会

1) 回転機分科会では，メーカーからユーザー向けの新技術に関する情報提供の場とするとともに，メーカーへ石油学会活動をアピールすることで，研究討論会への参加拡大を図ることを目的に平成28年度より「新技術発表会」を開催することとした。平成28年4月22日(金)に，高速インバータモータ及び水冷インバータをテーマに第1回「新技術発表会」を開催した。

2) 配管分科会では，高圧ガス保安協会（KHK）の規格KHKS-0801「高圧ガスの配管に関する基準」改訂案に関するパブリックコメントとして，当基準の本文に記載されているJPI規格の「年度指定」を外す等を石油学会として要望した。また，装置設計者側が誤解しているポイントを

石油学会としてコメントした結果、KHKが発行している機関誌『高圧ガス』に記事を掲載いただくこととなった。

- 3) 設備保全分科会では、第2回設備技術専門委員会にて、「設備管理に活かすIoT」に関する技術紹介4件ならびに「製油所トラブル事例報告」3件の発表会を行った。
 - 4) 計装分科会では、若手育成を目的にトラブル、成功、技術的適用等の事例交換会を開催するとともに、計装技術講座一覧をアップデートした。また、調査・研究の一環として、8月に「石狩LNG（北海道ガス）」、「石狩超電導実験施設（千代田化工建設）」及び「札幌市地域冷暖房システム」を訪問し、情報交換等を実施した。
 - 5) 電気分科会では、WG1にて「電気取扱いに関する安全対策」をテーマに昨年度実施した各社からのアンケート結果を集計し、内容をまとめた。WG2では、「電気設備のリスクアセスと今後の対策」の一環として、「電気設備における未発見リスクの発掘と重大事故の撲滅—変電室火災—」をテーマにリスクの洗い出しや事故事例の収集を実施した。WG3では、施設研修会として10月にフジクラ鈴鹿工場にてケーブル製作工程見学後、勉強会を行った。
 - 6) 保安分科会では、製油所設備の「変更管理」について、「変更管理システム比較表」の最終確認、「変更管理実施事例集」の表現訂正並びに最終確認及び「変更管理に係る文献リスト」の最終確認を行い、これらをまとめて「変更管理事例集」として完成した。
- (4) 経営情報部会
 下記WGを設置して調査・検討を行い、その成果を京都大会（第46回石油・石油化学討論会）で報告した。
 「シナリオプランニング Part 2
 ～Shell New Lens Scenariosを通して見る世界と日本のエネルギー～
 「石油・石油化学プラントにおける装置関連データの分析・評価手法の調査・研究」
- (5) 新エネルギー部会
 次世代バイオ燃料分科会で以下の活動を行った。
 - a) 平成28年12月2日(金)に三菱重工業(株)総合研究所長崎地区にて、バイオジェット燃料製造設備の見学会及び勉強会を実施した。
 - b) 次世代バイオ燃料の動向について調査を実施した。

1-1-2 受託、参加事業

- (1) (一財)石油エネルギー技術センターが実施する「石油精製高付加価値化等技術開発事業」のうち、
 - ①プロセスコンフィグレーション評価モデルの調査、②革新的石油精製技術のシーズ発掘を受託し、実施した。
- (2) (一財)JCCP国際石油・ガス協力機関が実施する「産油・産ガス国事業環境整備等事業」のうち、
 - ①産油・産ガス国研究者受入事業、②テーマ別合同シンポジウム事業、③支援化確認事業（サウジアラビアとわが国が共同実施する石油精製部門の技術開発）に参加し、調査・研究を実施した。

1-2 成果公開・普及

前述の部会、委員会活動や受託事業で得られた調査・研究の成果並びに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開した。石油及びエネルギーに関する情報の普及に努めることで、国民がこの分野に関心を持ち、石油資源の現状とその有効利用に対する理解を深めること、本分野の研究者・技術者のすそ野が拡大することを目指した。

1-2-1 会誌（一般誌）

- (1) 会誌（『ペトロテック』月刊）を発行し、会員に配布したほか、一部外部に頒布した。
 - 1) 各月の主な内容は次表のとおりである。

巻数 号数	第39巻									第40巻			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
時評	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
座談会	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	10
一般総説・資料	10	10	10	9	10	10	10	8	8	9	8	8	110
エネルギー関連団体紹介	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6
在外研究MAP	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	7
全国事業所の職場紹介	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	4
石油業界の研究所紹介	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	2	0	7
私事白書	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6
Debutant	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	6
辛口放談	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
讃嘆石油史!	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ふるさと自慢	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
趣味談議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
JPIJSだより	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
今月の一口メモ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
エネルギー知ってるはず	0	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	8
新技術紹介	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
おすすめの一冊	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
目次裏統計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
全頁数	88	90	80	88	86	86	84	78	71	70	78	76	975

2) 上記以外の特集記事を以下のとおり掲載した。

*平成28年4月号「ようこそ石油・石油化学業界へ2016」

*平成28年5月号「光触媒技術の新展開」

*平成28年8月号「自動車の自動運転」

*平成28年9月号「平成27年度受賞講演(1)」

*平成28年10月号「平成27年度受賞講演(2)」

3) その他、国内・海外の最近のニュース、論文誌掲載論文目次、学会活動を報告する「学会の窓」などを掲載した。

1-2-2 広報

(1) 講演会、研究発表会等の学会活動を報道各社に紹介した。

(2) ホームページコンテンツの一層の充実を図るとともに、学会行事や学会活動の成果を随時ホームページにて紹介した。

(3) 会員を始めとするWeb閲覧者向けに実施している「ペトロテック」の過去掲載記事を検索・閲覧するサービスとして、第39巻第6号までの記事を公開した。

1-2-3 講演会等(移動大学、支部講演会、JPIJS講演会、部会講演会)

(1) 多くの方々に石油に関する理解や興味を深めてもらうため、大学生(院生を含む)や一般市民を対象として、移動大学「石油関連セミナー」を石油連盟の支援のもとに実施した。平成28年度は19の大学・機関において講義数66コマを実施した。本年度の聴講延べ人数は約3,270人であった。開始した平成9年度からの累計は総コマ数1,153コマ、聴講延べ人数約90,900人に達している。

(2) 支部講演会等

[北海道支部]

1) 平成28年7月23日(土)に化学系学協会北海道支部合同夏季研究発表会を共催した(室蘭市)。

- 2) 平成28年10月21日(金)に第9回実践的石油学講習を企画し、実施した(苫小牧市)。
- 3) 平成28年11月21日(月)に触媒学会北海道支部札幌講演会を共催した(札幌市)。
- 4) 平成28年12月20日(火)に第16回北海道支部講演会を企画し、実施した(旭川市)。
- 5) 平成29年1月17日(火), 18日(水)に化学系学協会北海道支部合同冬季研究発表会を共催した(札幌市)。

[東北支部]

平成28年2月16日(木)に第33回東北支部講演会を企画し、実施した(秋田市)。

[東海支部]

- 1) 平成28年8月下旬から9月上旬に、東海地区の4石油会社の製油所・事業所にて東海地区大学院生を対象に行われたインターンシップ事業に協力した。東海地区の5大学から7名の学生が参加した。また、平成28年9月12日(月)にインターンシップ研修報告会を企画し、実施した(名古屋市)。
- 2) 平成28年9月12日(月)に第5回東海支部講演会を企画し、実施した(名古屋市)。

[関西支部]

- 1) 平成28年11月17日(木), 18日(金)に開催された京都大会(第46回石油・石油化学討論会)では実行委員会を組織し、準備・運営に協力した。
- 2) 平成28年5月26日(木)にジャパンコーティングレジジン(株)枚方工場(合成樹脂製造)にて企業見学会を実施した。
- 3) 平成28年9月16日(金)に大阪国際石油精製(株)大阪製油所にて第24回学生企業見学会を実施した。
- 4) 平成28年10月14日(金)に第23回関西支部セミナーを日本エネルギー学会関西支部と共催した(大阪市)。
- 5) 平成28年12月9日(金)に第25回関西支部研究発表会を日本エネルギー学会関西支部と共催した(京都市)。

[中国・四国支部]

- 1) 平成28年11月22日(金)に第35回中国・四国支部講演会を企画し、実施した(宇部市)。
- 2) 平成29年1月20日(金)に第21回中国・四国支部技術交流会を企画し、実施した(周南市)。
- 3) 平成28年夏に中国・四国地区の4製油所・事業所にて学部・大学院生を対象に行われたインターンシップ事業に協力した。中国・四国地区の5大学から9名の学生が参加した。

[九州・沖縄支部]

- 1) 平成28年6月24日(金)に第35回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(大分市)。
- 2) 平成28年10月21日(金)に第36回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(北九州市)。

(3) JPIJS講演会

- 1) 平成28年5月24日(火)に開催の第65回研究発表会に併せて、第21回若手研究者のためのポスターセッションを開催した。50件の発表があり、最優秀ポスター賞を1件、優秀ポスター賞を4件選定し、表彰した。
- 2) 平成28年11月17日(木), 18日(金)に開催の京都大会(第46回石油・石油化学討論会)において、国際セッションを企画し、最優秀賞を選定し、2名に授与した。
- 3) ペトロテック各号に「JPIJSだより」として行事報告等を掲載した。
- 4) その他、全国においての活動は次のとおりである。

[北海道・東北地区]

- a) 平成28年7月7日(木)に精製部会プロセス分科会協力のもと、JPIJS北海道・東北地区討論会「石油産業の役割と若手エンジニアの未来像」を開催した(秋田市)。
- b) 平成28年7月24日(日), 25日(月)に第56回オーロラセミナーを触媒学会と共催した(北海道雨竜郡)。
- c) 平成28年12月20日(火)に北海道・東北地区講演会を開催した(函館市)。

[関東地区]

平成28年12月9日(金)に精製部会プロセス分科会協力のもと、JPIJS関東地区討論会「石油産業の役割と若手エンジニアの未来像」を開催した(東京)。

[関西地区]

平成28年8月29日(月), 30日(火)にコロキウム2016を日本エネルギー学会関西支部, 石油学会関西支部と共催した(芦屋市)。

[九州地区]

- a) 平成28年7月22日(金), 23日(土)に第27回若手ケミカルエンジニア討論会を化学工学会九州支部と共催した(福岡市)。
- b) 平成28年10月21日(金)に開催の第16回産学連携フェアに合わせて, 若手研究者のためのポスターセッションを開催した(北九州市)。

(4) 部会講演会

[資源部会]

- 1) 平成28年10月5日(水)に非在来型シンポジウム「上流から下流までの技術開発～非在来型原油の本命「重質油」を中心に」を新エネルギー部会と共同で企画し, 実施した。
- 2) 平成28年11月17日(木), 18日(金)に開催の京都大会(第46回石油・石油化学討論会)において「石油・天然ガス開発」のセッションを企画し, 協力した。

[精製部会]

- 1) 平成28年10月6日(木), 7日(金)に28th JPI Petroleum Refining Conference “Recent Progress and Future Prospect in Petroleum & Petrochemical Technologies”を企画し, 実施した。
- 2) 平成29年2月17日(金)に第42回精製パネル討論会を企画し, 実施した。
- 3) 平成28年7月7日(木)に開催したJPIJS東北・北海道地区討論会の実施に協力した。
- 4) 平成28年12月9日(金)に開催したJPIJS関東地区討論会の実施に協力した。
- 5) 第41回精製パネル討論会会議録〔平成28年2月19日(金)開催〕を平成28年5月に発行した。

[石油化学部会]

- 1) 平成28年11月17日(木), 18日(金)に開催の京都大会(第46回石油・石油化学討論会)において「水銀除去」「バイオ技術」「ポリマー・オリゴマー」のセッションを企画し, 協力した。
- 2) 平成28年12月14日(水)に第24回触媒シンポジウム「再生可能エネルギーからの水素製造と人工光合成の現状と今後」を企画し, 実施した。

[製品部会]

- 1) 平成28年12月8日(木)に2016石油製品討論会「石油資源の有効活用に向けた製品開発と評価技術」を企画し, 実施した。
- 2) 絶縁油分科会では, 平成28年6月10日(金)に第36回絶縁油分科会研究発表会を企画し, 実施した。また, 平成28年11月11日(金)に第4回絶縁油分科会後継者育成講習会を企画し, 実施した。

[装置部会-装置委員会]

- 1) 平成28年11月17日(木), 18日(金)に開催の京都大会(第46回石油・石油化学討論会)において「石油精製(設備保全)」のセッションを企画し, 実施した。
- 2) 平成28年12月8日(木), 9日(金)に第47回装置研究討論会「これからの設備管理」を企画し, 実施した。
- 3) 回転機分科会では, 平成27年10月17日(月)に第16回 回転機研究討論会を企画し, 実施した。また, 平成28年7月13日(水)～15日(金), 7月21日(木), 2日(金), 11月16日(木)～18日(土)に初級者向け教育講座を企画し, 実施した。
- 4) 配管分科会では, 平成28年11月25日(金)に第13回配管技術セミナー「初級編～配管用ガスケットの基礎技術の習得」を企画し, 実施した。
- 5) 電気分科会では, 平成29年3月10日(金)に第17回電気研究討論会「電気安全～電気技術者の安全

と保守の取り組み～」を企画し、実施した。

6) 計装分科会では、平成29年2月24日(金)に第33回計装研究討論会を企画し、実施した。

[経営情報部会]

平成28年11月17日(木)、18日(金)に開催の京都大会(第46回石油・石油化学討論会)において「プラントビッグデータの業務活用と今後の課題」のシンポジウムを企画し、協力した。

[新エネルギー部会]

- 1) 平成28年10月5日(水)に非在来型シンポジウム「上流から下流までの技術開発～非在来型原油の本命「重質油」を中心に」を資源部会と共同で企画し、実施した。
- 2) 平成28年11月17日(木)、18日(金)に開催の京都大会(第46回石油・石油化学討論会)において「バイオ技術」のセッションを企画し、協力した。

1-2-4 規格の制定・普及

[装置部会]

(1) 装置委員会

1) 機器分科会では、次の規格類の見直しを実施した。

- * 7S-7-06 [塔頂ダビット]
- * 7S-8-04 [塔類プラットホーム及びラダー]
- * 7S-34-96 [炭素鋼製マンホール]
- * 7R-51-97 [空冷式熱交換器の構造]

2) 配管分科会では、次の規格の見直しを実施した。

- * 7S-41-05 [配管用うず巻型ガスケット]
- * 7S-46-11 [鋳鋼製フランジ型及び突合せ溶接型弁]
- * 7S-67-06 [石油工業用バルブの基盤規格]
- * 7S-73-10 [石油工業用オリフィスフランジ]
- * 7S-84-96 [石油工業用鋼鉄ボス、ブランチアウトレット及びプラグ]
- * 7S-90-02 [管の曲げ加工法]

(2) 設備維持規格委員会

次の規格の改訂及び追補の公開を実施した。

- * 8S-2-09 [設備維持規格] 平成28年4月27日に改訂。
- * 8R-17-09 [ホットスタート] 平成28年4月27日に改訂。
- * 8S-1-14 [配管維持規格] , 8S-2-16 [設備維持規格] , 8R-11-14 [防食管理] , 8R-12-14 [劣化損傷の評価と対応] , 8R-15-13 [フランジ・ボルト締付管理] 追補

1-2-5 設備維持管理士

(1) 資格付与・講習会

設備維持管理士認定委員会において設備維持規格の内容に関する試験を行い、合格者に設備維持管理士の資格を付与した。また、規格内容に関する講習会及び管理士資格者を対象とした更新講習会を開催した。

- 1) 平成29年1月11日(水)に東京で、回転機維持規格講習会、及び回転機維持管理士更新講習会を実施した。
- 2) 平成29年1月12日(木)に東京で、計装設備維持規格講習会、及び計装設備維持管理士更新講習会を実施した。
- 3) 平成29年1月13日(金)に東京で、平成29年1月16日(月)に京都で、配管・設備維持規格講習会を実施した。
- 4) 平成29年1月20日(金)に東京で、電気設備維持規格講習会、及び電気設備維持管理士更新講習会を実施した。
- 5) 平成29年2月12日(日)に東京及び京都で、設備維持管理士認定試験を実施した。その結果、配

管・設備維持管理士として78名（受験者数197名），回転機維持管理士として32名（受験者数55名），電気設備維持管理士として6名（受験者数52名），計装設備維持管理士として26名（受験者数82名）をそれぞれ認定した。

- 6) 平成29年2月17日(金)に東京で，平成29年2月20日(月)に京都で，配管・設備維持管理士更新講習会を実施した。
- 7) 設備維持管理士更新講習会は，認定証の有効期限が平成29年3月31日及び平成30年3月31日の認定者が対象で，各講習会終了後ただちに認定証の更新手続きを行った。その結果，配管・設備105名，回転機32名，電気設備36名，計装設備31名をそれぞれ更新認定した。

(2) 表彰

平成28年11月17日(木)に第2回設備維持管理士育成優良事業所表彰式を京都大会で行い，5つの会社・事業所を表彰した。

2. 研究・技術開発の支援

2-1 研究発表会，石油・石油化学討論会，論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究，技術開発の一層の推進を図るため，研究者や技術者の成果発表や情報交換の場として，研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催した。さらにこれらの成果を論文誌として刊行・公開した。

- (1) 平成28年5月24日(火)に第65回研究発表会を開催した。
- (2) 平成28年11月17日(木)，18日(金)に京都大会「石油を語りに京都へおこしやす」（第46回石油・石油化学討論会）を開催した。
- (3) 論文誌「Journal of the Japan Petroleum Institute」（隔月刊）を発行し，維持会員（411部），公共会員（21部）及び普通会員・学生会員の購読希望者（235部）に配布したほか，外部に各号26部を頒布した。また，国内に49部，海外に63部を寄贈した。平成28年度の掲載内容は次表のとおりである。J-Stage上では本誌オンラインジャーナルを第60巻第1号までを公開した。昨年1年間の論文ダウンロード件数は約75,000件（うち海外は約50,000件）となっている。

特集論文を以下のとおり掲載した。

- * 第59巻第5号 「名古屋大会」特集
- * 第59巻第6号 「多孔質膜の調製および分離への適用」特集

巻数	第59巻				第60巻		合計
	3	4	5	6	1	2	
号数	3	4	5	6	1	2	6
総合論文	2	1	1	5	2	2	13
一般論文	3	5	6	3	5	3	25
ノート	—	—	1	—	—	—	1
技術報告	—	—	1	3	—	—	4
レター	—	1	—	—	—	1	2
投書	—	—	—	—	—	—	0
件数合計	5	7	9	11	7	6	45
全頁数	36	55	77	79	62	49	358

2-2 研究助成

平成29年度の助成金交付対象者を以下の2名に決定した。

- (1) 「アルカン脱水素反応のためのナノ粒子分散型超薄膜シリカ系水素分離膜の創製」
(助成額 100万円) 広島大学 助教 金指 正言 氏
- (2) 「CO₂を炭素源としたヒドロホルミル化に有効な新規合金触媒の開発」
(助成額 100万円) 北海道大学 准教授 古川 森也 氏

2-3 表彰

石油学会表彰規程，野口記念賞表彰規程により，学会賞2件，論文賞2件，技術進歩賞1件，奨励賞2件の授賞を決定した。

2-4 国際交流

- (1) 韓国工業化学会 (KSIEC) との技術交流を継続した。平成 28 年 5 月 2 日(月)～4 日(水)に韓国・麗水で開催された KSIEC 春の年会において第 3 回 JPI-KSIEC Joint Symposium を実施し，本会から公募で選ばれた 4 名が研究成果を発表した。
- (2) JPIJS が京都大会において国際セッションを企画し，実施した。依頼講演を含む 14 件の発表があった。

【収益事業等】

1. 受託事業

- (1) 製品部会ガソリン分科会において，(株)石油産業技術研究所から「新規自動車の制御技術に燃料性状が与える影響調査」について受託し，調査・試験を実施した。
- (2) 製品部会燃料油分科会において，(株)石油産業技術研究所から「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し，調査・試験を実施した。

2. 図書及び標準試料認定・販売事業

2-1 図書販売

- (1) 石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に販売している以下の図書について，出版社より販売部数に応じて販売手数料を得た。
「新版 石油精製プロセス」 「石油化学プロセス」
- (2) 「石油化学プロセス」(2001年刊行)の改訂版刊行に向け，編集委員会を立ち上げ，作業を開始した。

2-2 標準試料認定・販売

平成28年度の認定数(販売数)は次のとおりである。硫黄分(1,572)，窒素分(287)，ニッケル・バナジウム分(34)，FIA用(15)，軽油硫黄分(539)，標準ガソリン(90)，引火点(1,176)，分離確認用標準(2)総計は3,715であった。

3. 溶接士の認定事業

- (1) 平成20年6月から(一社)日本溶接協会にJPI規格4種の免許証発行業務を移管している。平成28年度の認定者数は736名で，現在までの累計認定者数は140,541名である。

4. 会員交流事業

- (1) 製品部会潤滑油分科会では，JPI-5S-25-2008 [ガソリンエンジンワニス評価法]を関連の業界技術者に普及するため，平成28年11月24日(木)，25日(金)に第43回レイティングシンポジウムを開

催した。

(2) 講演会等の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催した。

5. 会員向けサービス

毎月1回、普通会员及び維持会員あてに本会のトピックス、行事案内、募集などを記載したメールマガジンを発信した。

【法人管理】

1. 庶務事項

役員の登記手続き

平成28年5月23日就任の新役員の登記手続きは7月に終了した。

2. 法人運営

(1) 法人管理・運営にあたり、以下の会議を開催した。

理事会 (6回)、運営会議 (6回)、顧問会 (1回)、事業推進会議 (1回)、役員等候補者選定委員会 (1回)、財務委員会 (3回)、職員人事委員会 (4回)

(2) 事業推進会議に代わるものとして、平成29年度から維持会員を対象とした事業内容説明会と懇親会を企画することを決定した。

(3) 下記規程類を改定した。

- * 細則 (会費, 会誌)
- * 職員人事委員会規程
- * 職員就業規程
- * 職員給与規程
- * 委員への資格授与規則
- * 設備維持管理士認定試験等規則
- * 一般誌原稿料規則
- * 職員給与支給規則

(4) 会員増強活動として、次の取り組みを行った。

1) 前年度に引き続き会員拡大年間として入会金を免除した。

2) 春季に、主に企業の新入社員、若手社員を対象とした入会初年度会費半額キャンペーンを行った。ペトロテック第39巻第4号に特集記事「ようこそ石油・石油化学業界へ2016」を掲載し、前年度に続き、ペトロテック編集委員会と会員拡大委員会が連携して入会勧誘活動を実施した。

3) 秋季に、普通会员初年度会費半額キャンペーンを実施した。

4) 本会役員を中心に維持会員の勧誘を行った。

(5) 他学協会、その他の団体から事業の共催、協賛などの依頼を受けて積極的に協力した。

【会員数の状況】

平成28年度末（平成29年3月31日）と前年度末の会員数の比較は次表のとおりである。

項目 会員別	平成28年 3月31日現在	平成28年度会員数の増減			平成29年 3月31日現在
		増	減	増または減	
名誉会員	38	2	3	△1	37
普通会員	2859	352	155	197	3056
学生会員	220	106	102	4	224
小計	3117	460	260	200	3317
維持会員					
1級	17	0	0	0	17
2級	9	0	0	0	9
3級	29	0	0	0	29
4級	21	1	0	1	22
5級	187	14	9	5	192
小計	263	15	9	6	269
公共会員	21	1	0	1	22
総合計	3401	476	269	207	3608

【委員会・部会の会合数】

平成28年度の会合数は次表のとおりである（傘下の委員会を含む）。

会 合 名	数	会 合 名	数
通常総会	1	部会連絡会	2
事業推進会議	1	資源部会	3
理事会	6	精製部会	2
顧問会	1	プロセス分科会	10
運営会議	6	ペトロリオミクス分科会	8
財務委員会	3	石油化学部会	3
役員等候補者選定委員会	2	製品部会	3
受託事業委員会	2	ガソリン分科会	24
革新的石油精製技術シーズ発掘事業支援WG	8	燃料油分科会	18
研究助成委員会	1	潤滑油分科会	9
職員人事委員会	4	アスファルト分科会	8
事業活性化委員会	3	絶縁油分科会	23
支部長会議	1	試験分析分科会	14
会員拡大委員会	3	装置部会	3
石油化学プロセス編集委員会	3	設備維持規格委員会	29
ペトロテック編集委員会	11	装置委員会	3
Working Group 委員会	54	機器分科会	2
論文誌編集委員会	7	回転機分科会	19
研究・技術企画委員会	6	配管分科会	16
海外協力分科会（合同シンポジウム）	1	計装分科会	14
海外協力分科会（研究者受入）	2	電気分科会	8
表彰委員会	2	設備保全分科会	6
表彰推薦委員会	1	保安分科会	5
表彰選考委員会	6	経営情報部会	19
教育委員会	3	新エネルギー部会	3
設備維持管理士認定委員会	29	次世代バイオ燃料油分科会	3
溶接士検定委員会	1		
標準試料委員会	8		
		合 計	433

【講演会，討論会，研究発表会並びに見学会等の実施】

月	日	曜	名 称	開催地	講演数	参加者数
平成28年						
5	23 24	月 火	第57回通常総会，第59回年会－特別講演，受賞講演 受賞講演，依頼講演，第65回研究発表会， 第21回JPIJSポスターセッション	東京	14 43 50	321
6	10	金	第36回絶縁油分科会研究発表会	京都	10	122
10	5	水	「非在来型」シンポジウム「上流から下流までの技術開発 ～非在来型原油の本命「重質油」を中心に」	東京	7	58
10	6 7	木 金	28 th JPI Petroleum Refining Conference “Recent Progress and Future Prospect in Petroleum & Petrochemical Technologies”	東京	13	144
10	17	月	第16回 回転機研究討論会	東京	5 WS5	260
11	7 8	月 火	第26回日本－サウジアラビア合同シンポジウム	ダーラン	6(全体 23)	150 100
11	11	金	第4回絶縁油分科会後継者育成講習会	博多	3	80
11	17 18	木 金	京都大会「石油を語りに京都へおこしやす」 － 特別講演，招待講演，懇親会， 第46回石油・石油化学討論会	京都	17 239	617
11	25	金	第13回配管技術セミナー 「初級編～配管用ガasketの基礎技術の習得～」	東京	8	114
12	8	月	2016石油製品討論会 「石油資源の有効活用に向けた製品開発と評価技術」	東京	16	130
12	8 9	月 火	第46回装置研究討論会「これからの設備管理」	東京	8 PD2	146
12	14	水	第24回触媒シンポジウム「再生可能エネルギーからの水 素製造と人工光合成の現状と今後」	東京	5	92
平成29年						
1	11	水	設備維持規格講習会，一般及び更新講習会（回転機）	東京	－	68
1	12	木	設備維持規格講習会，一般及び更新講習会（計装設備）	東京	－	68
1	13	金	設備維持規格講習会，一般講習会（配管・設備）	東京	－	46
1	16	月	設備維持規格講習会，一般講習会（配管・設備）	京都	－	43
1	20	金	設備維持規格講習会，一般及び更新講習（電気設備）	東京	－	59
2	12	日	2016年度設備維持管理士認定試験 （配管・設備，回転機，電気設備，計装設備）	東京 京都	－	410
2	17	金	第42回精製パネル討論会	東京	PD3	164
2	17	金	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	東京	－	67
2	20	月	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	京都	－	38
2	24	金	第33回計装研究討論会	東京	5 PD1	137
3	10	金	第17回電気研究討論会 「電気安全～電気技術者の安全と保守の取り組み～」	東京	7	91

WS：ワークショップ，PD：パネルディスカッション

以上